

カシノナガキクイムシ初飛来確認調査

コナラ林における粘着トラップによる生き物調査

－ 2 0 1 2 －

奈良・人と自然の会

目的

奈良・人と自然の会の管理するならやま活動エリア内森林でのカシノナガキクイムシの初飛来の確認を 2 種類の粘着トラップによって行い、併せて粘着トラップでどんな生き物が捕獲されるかを比較検討した。

調査地点：ならやま里山林、ならやま自然の森、第 5 地区

調査期間

ならやま里山林：2012 年 6 月 28 日～8 月 2 日

ならやま自然の森、第 5 地区：2012 年 7 月 19 日～8 月 23 日

粘着トラップの種類

商品名：カミキリホイホイ (21cm×100 cm)

カシナガホイホイ (7 cm×50 cm)、面積的にカミキリホイホイの約 6 倍

トラップ設置方法

ならやま里山林：ならやま里山林ナラ枯れ調査エリアの区分にしたがって、各エリアから大きなコナラ樹を 1 樹ずつ、合計 33 樹選び、地上約 150 cm の高さの樹幹に 2 種類の粘着トラップを巻きつけた。なお、トラップの配置場所での誘引力の違いをみるために、18 樹についてはカミキリホイホイをカシナガホイホイの上位に、15 樹についてはカミキリホイホイをカシナガホイホイの下位に設置した。

ならやま自然の森：観察路に沿って入り口から出口までの間にコナラ 12 樹を選び、粘着トラップを同様に配置した。

第 5 地区：松林と杉林の中で各 1 樹を選び、トラップを設置した。

調査方法

ならやま里山林では、設置 1 週間後 (7 月 5 日)、設置 3 週間後 (7 月 19 日)、設置 5 週間後 (8 月 2 日) の 3 回、ならやま自然の森と第 5 地区では、設置 1 週間後 (7 月 26 日)、設置 3 週間後 (8 月 9 日)、設置 5 週間後 (8 月 23 日) の 3 回、付着している生き物の数を種類ごとに計測した。

調査樹の選定・トラップ設置：里山グループ

調査・解析担当者：菊川年明、木村 裕

平成24年度”カシナガホイホイ” “カミキリホイホイ”貼付コナラー一覧

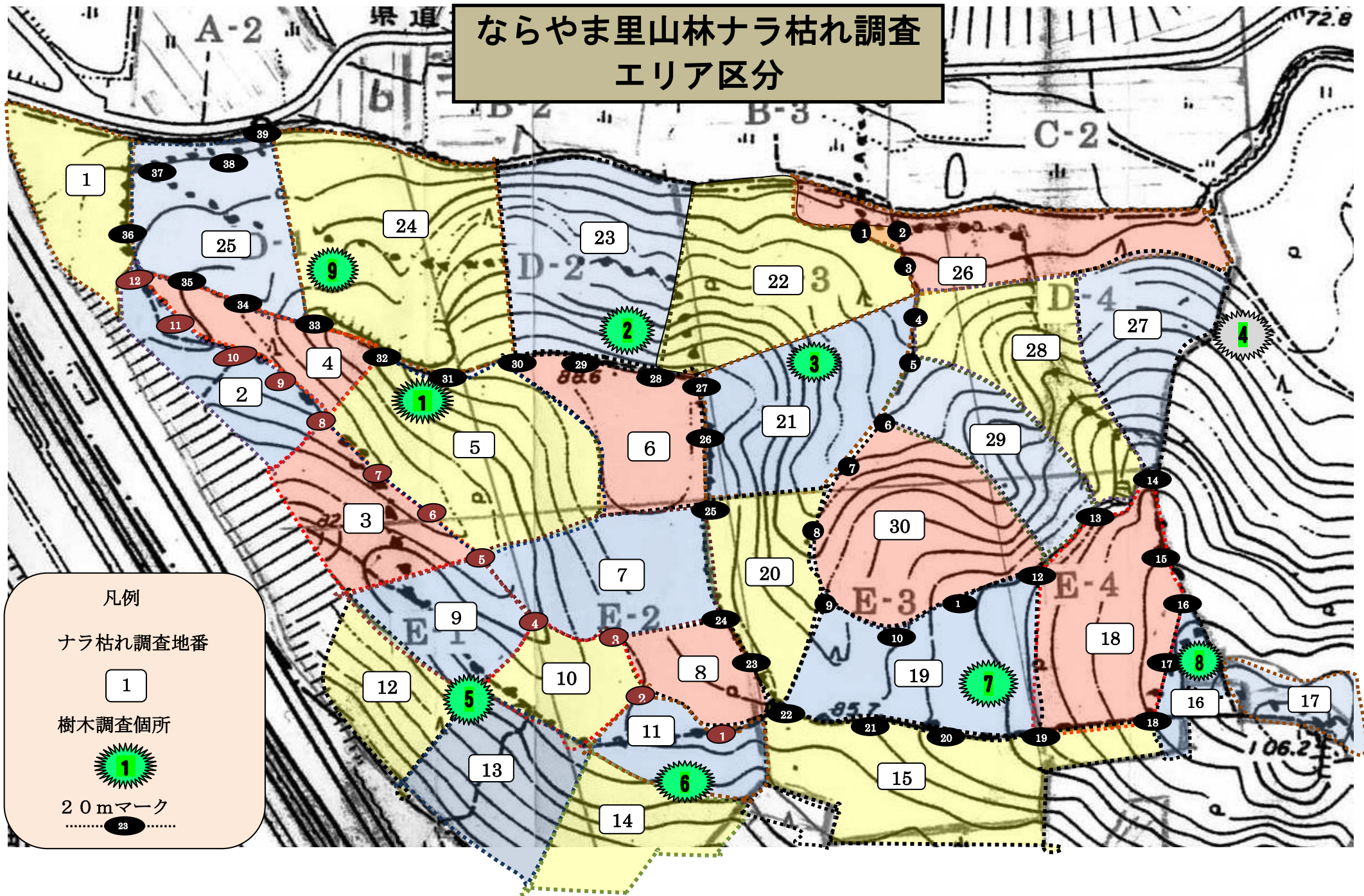
(ならやま里山林)

No	エリア区分	コナラNo	BHD(cm)	備 考	設置 (6/28)	点検 (7/5)	
1	1	B3	52				
2	2	B56	26				
	3	-					
3	4	B238	44	2本(62,76)			
4	5	B273	27				
5	6	B457	25				
6		B490	36	2本(56,58)			
7	7	D67	47	3本(46,61,41)			
8	8	D111	26				
9	9	D131	54	3本(67,65,39)			
	10	-					
	11	-					
	12	-					
10	13	D279	27				
11		D353	42				
	14	-					
12	15	E24	32				
	16	-					
	17	-					
13	18	E53	62	3本立ち(84,72.5,39)			
14		E72	67	3本立ち(99,68,44.5)			
15		E88	38				
	19	-					
16	20	E160	71	3本立ち(69.5,79.5,72.5)			
17	21	E204	30				
18	22	C109	46	2本立ち(72.5,73.5)			
19	23	C134	43				
20		C147	61	3本立ち(55.3,80.5,55.6)			
		C194	30	トラップ設置漏れ	設置漏れ	点検無し	
	24	-					
21	25	C370	43				
22	26	C431	104	3本立ち(132,95.5,97.3)			
23		C447	107	3本立ち(107,104.5,124)			
24		C458	26				
25	27	C482	32				
26	28	C556	39				
27		C572	29				
28		C584	52	2本立ち(84.5,77.5)			
29	29	C618	40	2本立ち(81,44)			
30		C622	16				
31		C626	44	立木にNO表示なし			
32	30	E261	45	2本立ち(97,45.5)			
33		E285	39	3本立ち(67.5, 10, 45)			
	区域	鳥観1					
	外	鳥観2					

以上33本

その他「ならやま自然の森」の自然観察路に15箇所貼付

ならやま里山林ナラ枯れ調査 エリア区分



凡例

ナラ枯れ調査地番

1

樹木調査箇所

1

20mマーク

23

1. カシノナガキクイムシ初飛来確認調査

調査結果

- ・ トラップ調査実施期間中、どのトラップにもカシノナガキクイムシの捕獲はなかった。
- ・ 8月2日の調査において、カシノナガキクイムシとは別種のヨシブエナガキクイムシがならやま里山林のC431区のトラップで1頭見つかった。
- ・ その他の樹幹食入昆虫はキクイムシ類とキクイゾウムシ類が若干捕獲されたが、トラップの差は認められなかった。

ならやま里山林でのトラップで捕獲された樹幹食入昆虫

トラップの種類	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7/5	7/19	8/2	7/5	7/19	8/2
ヨシブエナガキクイムシ	0	0	0	0	0	1
キクイムシ類	0	2	1	0	4	4
キクイゾウムシ類	5	4	0	6	7	7

ならやま自然の森でのトラップで捕獲された樹幹食入昆虫

トラップの種類	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7/26	8/9	8/23	7/26	8/9	8/23
キクイムシ類	0	0	0	1	2	0
キクイゾウムシ類	0	0	0	0	1	1

- ・ 9月13日、C431樹で地際から細かい木屑の排出と樹液の流出が認められた。その周辺を調査した結果、隣接の3樹についても木屑の排出が見られた。食入孔の付近を切り取って分解した結果幼虫1頭が見つかったが種の確定には至らなかった。



樹幹から排出される木屑



幼虫捕獲のための切り取り

- ・ 11月1日、森林総合研究所の衣浦博士に診断してもらった結果、C431樹はカシノナガキクイムシ侵入の疑いが濃厚であると判定された。同日、No.5林区でもカシノナガキクイムシの食入樹

が見つかった。

- 11月8日、No.5林区の食入被害樹を伐採し、薪割り機で分割したところ、食入孔道も多数認められた。さらにこの材をビニールに包んでおいたところ、11月29日多数の幼虫が材から這い出しているのが観察された。なおこれらの材・幼虫は焼却処分をおこなった。



カシノナガキクイムシの坑道



カシノナガキクイムシの幼虫

- 11月15日、No.5林区の隣接のNo.3林区でも3本、木屑の排出している樹が見られ、食入孔の多かった2樹をただちに伐採・焼却処分した。

考察

- カシノナガキクイムシはトラップに捕獲されなかったにも関わらず、食入被害樹が見つかったこと、食入部位がすべて樹幹の地際部だったことから、トラップの設置位置を再検討する必要がある。例えば地上から50 cm にするとか。
- トラップによって誘引された昆虫の種類が若干異なっていたが、カシノナガキクイムシに対してはどちらがよいか判定できなかった。
- 分解した材からの幼虫脱出数は数百個体認められたことから、この材を放置すれば翌年には相当数の新成虫が発生するものと推定される。それゆえ、食入被害樹の冬季の伐採は翌年の発生防止効果が非常に高いものと思われる。
- C431区で食入が確認された4樹については、春までに伐採・焼却する必要がある（冬季間に伐採・焼却する予定）。
- 今回実施している侵入初期の被害樹の処分により、次年度の被害樹の発生が抑制されれば、今後のナラ枯れ防除対策として友好的手段となるだろう。

2. ならやま里山林でのトラップで捕獲された生き物調査結果

- ・ 設置1週間後の調査では、捕獲された生き物の破損が少なく、種の同定、捕獲数の調査も行えたが、3週間後の調査では、アリによる食い荒らし、捕獲された生き物の変色・腐敗、ゴミの付着などにより正確な計測が困難となった。さらにカミキリホイホイトラップでは、付着した生き物の死骸で満杯となり、新たな生き物の付着する場所がなくなった。

トラップ別捕獲数（カミキリホイホイ：下位 15 樹計、カシナガホイホイ：上位 18 樹計）

調査日	7月5日		7月19日		8月2日	
	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
アリ類	535	655	1,103	1,741	1,874	1,483
ハエ類	233	21	310	14	192	120
その他昆虫	124	90	158	176	162	205
クモ類	30	12	40	17	32	28
その他小動物	3	6	8	7	11	13
捕獲総数	924	784	1,619	1,955	2,271	1,849

トラップ別捕獲数（カミキリホイホイ：上位 18 樹計、カシナガホイホイ：下位 15 樹計）

調査日	7月5日		7月19日		8月2日	
	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
アリ類	712	588	1,495	1,693	1,750	1,604
ハエ類	209	9	325	9	277	115
その他昆虫	101	114	124	176	141	244
クモ類	37	19	37	18	22	33
その他小動物	4	4	10	9	5	13
捕獲総数	1,063	734	1,991	1,905	2,195	2,015

トラップ別捕獲数（総計）

トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月5日	7月19日	8月2日	7月5日	7月19日	8月2日
アリ類	1,247	2,598	3,624	1,243	3,434	3,087
ハエ類	442	635	469	30	23	235
その他昆虫	230	283	317	209	356	486
クモ類	67	84	50	34	40	42
その他小動物	3	10	6	2	7	14
捕獲総数	1,989	3,610	4,466	1,518	3,860	3,864

- ・ カシナガホイホイが6倍の粘着面積とかなり広がったにも関わらず、カミキリホイホイの上位に配置しても下位に配置しても捕獲数は少なかった。とくにハエ類の違いが大きかった。

トラップによって捕獲数が異なった生き物

トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月5日	7月19日	8月2日	7月5日	7月19日	8月2日
トビナナフシ	11	15	10	2	7	5
モリチャバネゴキブリ	25	28	28	8	40	53
コガシラアワフキ	14	6	3	6	23	33
ハネカクシ科	3	10	14	6	6	6
ヒゲブトコメツキ科	23	11	38	3	5	5
キマワリ	36	50	63	0	0	0
オオクチキムシ	12	12	10	6	6	3
ムナグロサルハムシ	6	8	4	60	58	40
カサハラハムシ	3	3	5	7	11	22
クチブトゾウムシ類	13	26	31	42	67	92
ハエ類	442	635	469	30	23	235
コアシダカグモ	10	31	10	0	1	0

- ・ カミキリホイホイで捕獲数が顕著に多かったのは、トビナナフシ、ヒゲブトコメツキ類、キマワリ、ハエ類、コアシダカグモであった。
- ・ カシナガホイホイで捕獲数が顕著に多かったのは、ムナグロサルハムシ、カサハラハムシ、クチブトゾウムシ類であった。
- ・ モリチャバネゴキブリ、コガシラアワフキについては、1週間後の調査では、カミキリホイホイに多く捕獲されたが、3週間後以降は逆転した。
- ・ 朽木を生活の場とするキマワリは、カミキリホイホイでは多数捕獲されたにも関わらず、カシナガホイホイではまったく捕獲されなかった。キマワリほど顕著ではないが、朽木性のオオクチキムシにおいても同じような傾向が見られた。
- ・ ムナグロサルハムシ、カサハラハムシ、クチブトゾウムシ類はすべてコナラの葉を餌とする食葉性昆虫であった。
- ・ 歩行性のコアシダカグモは、カミキリホイホイに多数捕獲されたが、カシナガホイホイでは1頭捕獲されたのみであった。
- ・ ハエ類はイエバエ類が大半であったことから、肉質が多いコアシダカグモの腐敗臭に引かれてカミキリホイホイに多数捕殺されたものと推測される。腐敗物を餌とするハネカクシ類についても同様のことがいえる。



コアシダカグモ



カナヘビ



アミメアリ



マイマイカブリ



アオダイショウ



ヤブキリ類



トラップで捕獲されたグループ別生き物数

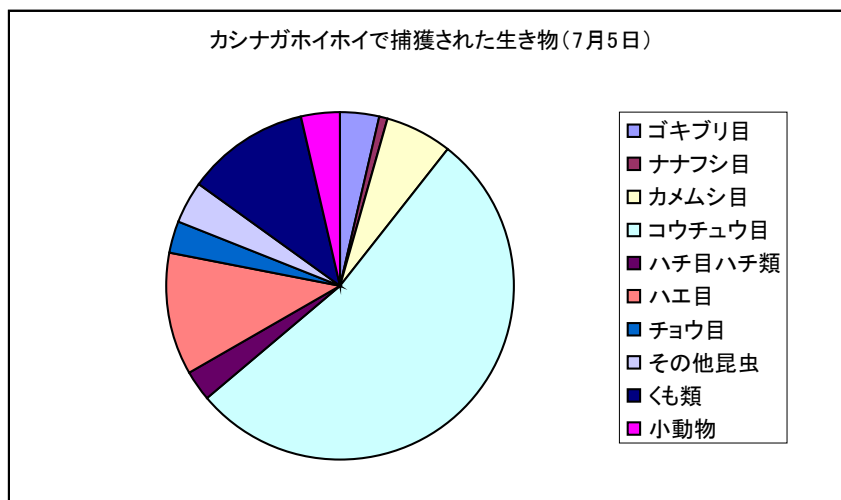
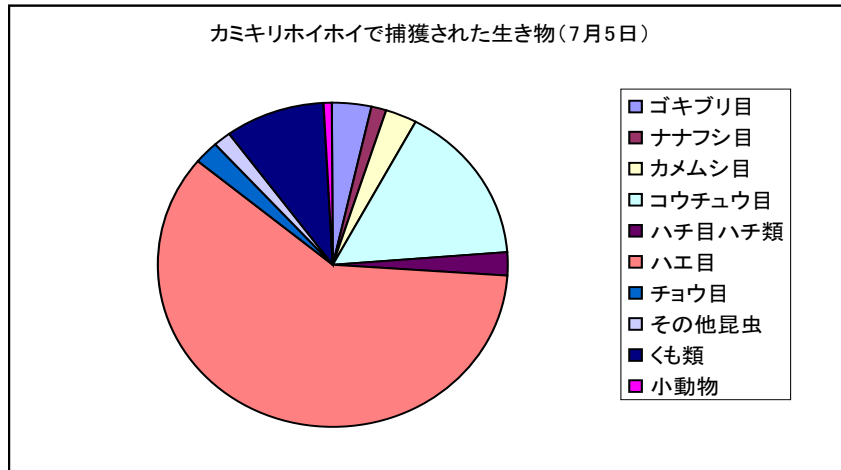
トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月5日	7月19日	8月2日	7月5日	7月19日	8月2日
調査日						
ゴキブリ目	27	35	30	10	40	55
カマキリ目	3	4	0	4	0	1
バッタ目	5	11	13	4	6	21
ナナフシ目	11	15	10	2	7	5
チャタテムシ目	0	0	0	2	1	0
カメムシ目	22	15	13	17	31	54
シリアゲムシ目	2	5	5	1	2	1
アミメカゲロウ目	1	1	1	0	2	2
コウチュウ目	118	149	201	147	229	260
ハチ目アリ類	1,247	2,598	3,624	1,243	3,434	3,087
ハチ目ハチ類	16	25	14	7	18	33
トビケラ目	2	1	3	0	1	1
ハエ目	445	638	469	32	25	236
チョウ目成虫	8	3	7	3	7	14
チョウ目幼虫	8	15	6	5	6	7
クモ類	67	77	54	31	35	61
多足類	4	8	10	8	9	12
はちゅう類	3	10	6	2	7	13
軟体類	0	0	0	0	0	1

- ・ トラップで捕獲された生き物は、昆虫 13 目、クモ類、多足類（ヤスデ類、ムカデ類）、はちゅう類（ヤモリ、カナヘビ、トカゲ、アオダイショウ）、軟体類（カタツムリ類）で、もっとも多かったのはハチ目のアリ類で、全体の 60～70%を占めていた。

トラップ別捕獲生き物の割合 (%)

	カミキリホイホイ	カシナガホイホイ
バッタ・ゴキブリ・ナナフシ類	6.2	7.3
カメムシ類	3.0	6.2
コウチュウ類	15.9	53.5
ハチ類（アリを除く）	2.2	2.5
ハエ類	60.0	4.0
その多昆虫類	2.8	11.6
クモ類	9.0	11.3
多足類、はちゅう類	0.9	3.6

- アリ類を除くと、カミキリホイホイでは、ハエ類が最も多く 60%を占め、ついでコウチュウ類の 15.9%であとは 10%以下であった。
- カシナガホイホイでは、コウチュウ類がもっとも多く 53.5%を占め、ついでクモ類の 11.3%で、ハエ類は僅か 4%と少なかった。



考察

- 捕獲虫のアリの食い荒らし、腐敗・変色などから、トラップは1週間を限度として取り替える必要がある。とくに大型の昆虫、クモ類、爬虫類においては。
- トラップによって誘引される生き物が異なっていたことから、粘着剤の他に何らかの薬剤が含まれていると思われる。
- 捕獲数の多さ、設置作業性からはカミキリホイホイが優れている。しかし、何を捕獲するかによってその判断は異なってくる。

捕獲された個別の生き物の概況

- ・ゴキブリ目では、クロゴキブリとモリチャバネゴキブリの2種類が捕獲された。クロゴキブリは翅なし成虫と幼虫が捕獲され、トラップと樹皮との間に隠れている集団も認められた。
- ・カマキリ目では、ハラビロカマキリの幼虫が捕獲された。
- ・ナナフシ目では、樹上生活をするトビナナフシの幼虫、後半には成虫も捕獲された。
- ・バッタ目では、樹上生活をするカネタタキ、ササキリモドキ、ヤブキリ類、コロギスの成幼虫の他、地上生活をするカマドウマ類も捕獲された。
- ・カメムシ目では、各種カメムシ類が捕獲されたが、個体数は少なかった。唯一多かったのはコガシラアワフキであった。セミ類はニイニイゼミ、アブラゼミ、ヒグラシの3種類が捕獲されたが多くはなかった。
- ・シリアゲムシ目では、ヤマトシリアゲの成虫が捕獲された。森林に住み昆虫の死体を吸汁することから捕獲された虫をねらって捕まったものと思われる。
- ・アミメカゲロウ目では、クサカゲロウ類の成虫が捕獲されたが、シリアゲムシと同じように捕獲された生き物を狙って捕まったものだろう。
- ・コウチュウ目では、うす暗い森林の中で、朽木も多く、トラップを設置した樹も年数を経た樹で朽木部分も多いことからキマワリ、オオクチキムシ、ヒゲブトコメツキ類が多く捕獲されたものと思われる。ムナグロサルハムシ、カサハラハムシ、クチブトゾウムシ類が多かったのは周囲に餌となるコナラ葉が多かったせいであろう。コナラの果実に食入するコナラシギゾウムシも捕獲された。
- ・ハチ目ではアミメアリが多数捕獲されたが、先に捕獲されたバッタ類、コアシダカグモ、はちゅう類などの肉を狙ったようで、トラップに付着した仲間のアリを足場にして獲物を切りきざんで運んでいた。砂地に近いトラップでのみ狩人バチのベッコウバチが捕獲された。
- ・ハエ目では、やや大型のイエバエ類が多数捕獲された。これは明らかに捕獲された大型の生き物の腐臭に引かれてやってきたものと思われる。
- ・チョウ目では、キマダラヒカゲの成虫が唯一の蝶で、他は小蛾の成虫とコナラ葉を餌とする幼虫であった。
- ・クモ類では、ほとんどが徘徊性のクモ類であった。家庭内の壁上を走り回っているアシダカグモの仲間であるコアシダカグモは非常に大きなクモで、アリ類の格好の的であった。昼間は何処かに潜んでいるのか姿を見たことはなかった、トラップにはかなり捕獲された。
- ・爬虫類は、シロマダラとアオダイショウが捕獲された。力はかなり強いと思われるが、トラップの粘着力の方が勝っていたようである。カナヘビも昼間はほとんど姿が見られないが、トラップにはかなり捕獲された。

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま里山林)-1

カミキリホイホイ: 下位配置、カシナガホイホイ: 上位配置

グループ名	種名	7月5日		7月19日		8月2日	
		カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
ゴキブリ目	クロゴキブリ	1	1	4	0	0	2
	モリチャバネゴキブリ	14	4	16	25	18	31
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫	2	3	4	0	0	0
バッタ目	カネタタキ幼虫	2	2	3	3	2	3
	ウマオイ・ヤブキリ類			2	0	3	1
	バッタ類			1	0		
ナナフシ目	トビナフシ	7	2	13	2	8	2
チャタテムシ目	チャタテムシ類	0	1				
カメムシ目	コガシラアワフキ	13	2	1	14	1	6
	アオバハゴロモ					0	1
	ヨコバイ類	0	1	0	0	1	1
	コミミズク			1	0		
	マルウンカ					0	1
	アブラゼミ					1	0
	オオモンシロナガカメムシ	2	1				
	チャバネアオカメムシ	1	1	1	0	1	1
	ウシカメムシ			1	1	0	3
	カメムシ類			0	2	2	1
	クヌギカメムシ類	1	0				
	アカサシガメ	0	1				
	アブラムシ類	0	1				
	シリアゲムシ目	ヤマトシリアゲ	2	1	1	0	1
アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科			0	1	0	1
	クサカゲロウ類	1	0	1	0	1	0
	クサカゲロウ類幼虫			0	1		
	ハネカクシ科	1	1	3	0	5	1
	ゴミムシ科					0	1
	コメツキムシ科	2	0	4	7	5	16
	ヒゲブトコメツキ科	5	0	4	0	13	1
	コメツキモドキ科			1	1		
	アオマダラタマムシ					0	1
	ナガタマムシ類	1	0				
	チビタマムシ科					1	0
	ナガチャコガネ	1	0				
	キオビジョウカイモドキ	0	3	0	2		1
	クリイロジョウカイ	1	0	0	1		
	ベニポタル科			3	1	1	0
	キマワリ	24	0	31	0	40	0
	シワナガキマワリ					0	1
	クロホシテントウゴミムシダマシ			0	1	0	1
	オオクチキムシ	5	3	7	3	8	2
	クチキムシ科	5	2	0	5	1	7
	オオキボシハナノミ					1	0
	ハナノミ科					0	1
	キスイモドキ科	0	1			4	0
	キスイムシ科					1	0
	ツツシンクイ科					1	1
	ノコギリカミキリ類			1	0		
	マダラアラゲサルハムシ					0	1
	ムナグロサルハムシ	1	16	5	24	1	18

	カサハラハムシ	1	5	0	8	2	11
	キクイムシ科			1	0	1	0
	キクイゾウムシ類	2	3	2	4	0	3
	クチブトゾウムシ類	12	29	19	45	16	59
	コナラシギゾウムシ					1	0
	サルゾウムシ類			0	1		
	カシルリオトシブミ			0	1	0	1
	ノミゾウムシ類					0	1
	ヒゲナガソウムシ科			1	1	0	1
ハチ目	アミメアリ	373	406	925	1542	1,626	1,174
	ヤマアリ類	162	249	172	192	242	302
	ムネアカオオアリ			6	7	6	7
	ヒメバチ科	6	2	9	8	6	13
	ジガバチ			2	0	2	0
	ドロバチ類	0	1	0	1	0	0
トビケラ目	トビケラ類	2	0	0	1	2	1
ハエ目	ハエ類	233	21	310	14	192	120
	アブ類			2	0	0	0
	マガリケムシヒキ			0	2	0	1
チョウ目	小蛾類	1	2	3	4	6	5
	エダシャク類	1		0	1		
	ツバメエダシャク類	1					
	ホタルガ	1					
	チャドクガ					0	1
	マダラマルバヒロズコガ幼虫			3	0	4	0
	サトキマダラヒカゲ	1					
	ホソバシャチホコの幼虫			0	1		
ガ類の幼虫	3	1	8	4	1	1	
クモ類	コアシダカグモ	1		9	0	5	0
	徘徊性クモ類	25	8	21	12	18	13
	ユウレイグモ	4	4	2	1	0	0
	ザトウムシ			4	1	6	7
	ササラダニ類			4	3	3	8
	ヤスデ類	1	2	3	3	7	7
多足類	ムカデ類	1	3	0	2	0	1
	ヤモリ					1	1
はちゆう類	カナヘビ	1	1	5	2	3	3
軟体類	カタツムリ類					0	1

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま里山林)-2

カミキリホイホイ: 上位配置、カシナガホイホイ: 下位配置

グループ名	種名	7月5日		7月19日		8月2日	
		カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
ゴキブリ目	クロゴキブリ	1	1	3	0	2	0
	モリチャバネゴキブリ	11	4	12	15	10	22
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫	1	1	0	0	0	1
バッタ目	カネタタキ幼虫	0	1	2	1	6	11
	ササキリモドキ	0	1	0	0	0	2
	ウマオイ・ヤブキリ類	0	0	0	0	2	2
	コロギス	1	0	1	1	0	2
	ハネナシコロギス	1	0	1	1		
	カマドウマ類	1	0	1	0		
ナナフシ目	トビナナフシ	4	0	2	5	2	3
チャタテムシ目	チャタテムシ類	0	1	0	1		
カメムシ目	コガシラアワフキ	1	4	5	9	2	27
	アオバハゴロモ					0	1
	ヨコバイ類	1	0	2	1	0	4
	ヒグラシ					2	2
	オオモンシロナガカメムシ	1	6				
	チャバネアオカメムシ	0	0	1	0	1	0
	ウシカメムシ	0	0	1	0	0	1
	モンキツノカメムシ					1	0
	シラホシカメムシ	1					
	ノコギリヒラタカメムシ類	0	0	0	1		1
	黒色のカメムシ	1					
	イトカメムシ類	0	0	1	0		
	カメムシ類	0	0	0	1	0	1
	ヒメホシカメムシ	0	0	0	1		1
	ゲンバウムシ科	0	0	1	0	1	2
	メクラカメムシ類	0	0	0	1		
	シリアゲムシ目	ヤマトシリアゲ	0	0	4	2	4
アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ類					0	1
コウチュウ目	ナガヒラタムシ					1	
	ハネカクシ科	2	5	7	6	9	5
	ゴミムシ科	0	0	0	2		1
	エンマムシ科		1				
	コメツキムシ科	0	3	7	15	11	22
	ヒゲブトコメツキ科	18	3	7	5	25	4
	コメツキモドキ科	0	0	2	5		
	チビタマムシ科					1	
	ナガチャコガネ	0	0	0	1		1
	キオビジョウカイモドキ	0	0	0	1	1	
	クイロジョウカイ	2	0	1	3	1	3
	キマワリ	12	0	19	0	23	
	シワナガキマワリ	0	0	0	1	1	
	ナガニジゴミムシダマシ	0	0	0	1		
	オオクチキムシ	7	3	5	3	2	1
	クチキムシ科	0	2	1	7		9
	シロホシテントウ	0	0	0	1		
	ウスキホシテントウ	0	0	0	1		1
	コクロヒメテントウ						1
	テントウムシ科						1
	キスイモドキ科	2	1				

	ケシキスイ科						2
	ツツシンクイ科	0	0	1	0		
	アカハナカミキリ					1	
	アカガネサルハムシ	0	0	0	1		1
	ムナグロサルハムシ	5	44	3	34	3	22
	カサハラハムシ	2	2	3	3	3	11
	キクイムシ科	0	0	1	4		4
	ヨシブエナガキクイムシ						1
	キクイゾウムシ類	3	3	2	3	0	4
	クチブトゾウムシ類	1	13	7	22	15	33
	マツキボシゾウムシ	1	0				
	コナラシギゾウムシ	1	1	1	1		2
	ホオジロアシナガゾウムシ		1				
	サルゾウムシ類	0	1	0	1		
	カシルリオトシブミ	1				1	
	ゾウムシ科		1				
	ヒゲナガソウムシ科	0	0	0	3	1	2
ハチ目	アミアリ	595	457	1352	1540	1501	1089
	ヤマアリ類	81	89	74	70	167	378
	ムネアカオオアリ	36	20	19	71	82	137
	茶色	0	22	50	12		
	ヒメバチ科	8	3	14	9	6	20
	ジガバチ	1					
	アシナガバチ類	1					
	マルハナバチ類		1				
トビケラ目	トビケラ類	0	0	1	0	1	
ハエ目	ハエ類	209	9	325	9	277	115
	マガリケムシヒキ	1	1	1	0		
	ガガンボ科		1				
チョウ目	小蛾類	3	0	0	2	1	8
	ビロウドハマキ		1				
	モンシロドクガ幼虫		2				
	コウモリガの幼虫	1	0	1	0		
	ガ類の幼虫	4	2	3	1	1	6
クモ類	コアシダカグモ	9	0	22	1	5	
	徘徊性クモ類	23	9	13	11	13	13
	ユウレイグモ	3	1	1	0	1	1
	ザトウムシ	0	0	1	0		1
	ササラダニ類	2	9	0	6	3	18
多足類	ヤスデ類	1	3	5	4	3	4
	ムカデ類	1	0				
	カナヘビ	2	1	5	5	2	6
	トカゲ						1
	アオダイショウ						2

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま里山林)-3

グループ名	種名	カミキリホイホイ(総計)			カシナガホイホイ(総計)		
		7月5日	7月19日	8月2日	7月5日	7月19日	8月2日
ゴキブリ目	クロゴキブリ	2	7	2	2	0	2
	モリチャバネゴキブリ	25	28	28	8	40	53
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫	3	4	0	4	0	1
バッタ目	カネタタキ幼虫	2	5	8	3	4	14
	ササキリモドキ	0	0	0	1	0	2
	ウマオイ・ヤブキリ類	0	2	5	0	0	3
	コロギス	1	1	0	0	1	2
	ハネナシコロギス	1	1	0	0	1	0
	バッタ類	0	1	0	0	0	0
	カマドウマ類	1	1	0	0	0	0
ナナフシ目	トビナナフシ	11	15	10	2	7	5
チャタテムシ目	チャタテムシ類	0	0	0	2	1	0
カメムシ目	コガシラアワフキ	14	6	3	6	23	33
	アオバハゴロモ	0	0	0	0	0	2
	ヨコバイ類	1	2	1	1	1	5
	コミズク	0	1	0	0	0	0
	マルウンカ	0	0	0	0	0	1
	アブラゼミ	0	0	1	0	0	0
	ヒグラシ			2			2
	オオモンシロナガカメムシ	3	0	0	7	0	0
	チャバネアオカメムシ	1	2	2	1	0	1
	ウシカメムシ	0	2	0	0	1	4
	モンキツノカメムシ			1			0
	シラホシカメムシ	1	0	0	0	0	0
	ノコギリヒラタカメムシ類	0	0	0	0	1	1
	黒色のカメムシ	1	0	0	0	0	0
	イトカメムシ類	0	1	0	0	0	0
	カメムシ類	0	0	2	0	3	2
	ヒメホシカメムシ	0	0	0	0	1	1
	クヌギカメムシ類	1	0	0	0	0	0
	アカサシガメ	0	0	0	1	0	0
	ゲンバウムシ科	0	1	1	0	0	2
	メクラカメムシ類	0	0	0	0	1	0
	アブラムシ類	0	0	0	1	0	0
	シリアゲムシ目	ヤマトシリアゲ	2	5	5	1	2
アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	0	0	0	0	1	1
	クサカゲロウ類	1	1	1	0	0	0
	クサカゲロウ類幼虫	0	0	0	0	1	0
	ウスバカゲロウ類			0			1
	ナガヒラタムシ			1			0
	ハネカクシ科	3	10	14	6	6	6
	ゴミムシ科	0	0	0	0	2	2
	エンマムシ科	0	0	0	1	0	0
	コメツキムシ科	2	11	16	3	22	38
	ヒゲブトコメツキ科	23	11	38	3	5	5
	コメツキモドキ科	0	3	0	0	6	0
	アオマダラタムシ	0	0	0	0	0	1
	ナガタムシ類	1	0	0	0	0	0
	チビタムシ科	0	0	2	0	0	0
	ナガチャコガネ	1	0	0	0	1	1
	キオビジョウカイモドキ	0	0	1	3	3	1
	クリイロジョウカイ	3	1	1	0	4	3

コウチュウ目	ベニボタル科	0	3	1	0	1	0	
	キマワリ	36	50	63	0	0	0	
	シワナガキマワリ	0	0	1	0	1	1	
	クロホシテントウゴミムシダマシ	0	0	0	0	1	1	
	ナガニジゴミムシダマシ	0	0	0	0	1	0	
	オオクチキムシ	12	12	10	6	6	3	
	クチキムシ科	5	1	1	4	12	16	
	オオキボシハナノミ	0	0	1	0	0	0	
	ハナノミ科	0	0	0	0	0	1	
	シロホシテントウ	0	0	0	0	1	0	
	ウスキホシテントウ	0	0	0	0	1	1	
	コクロヒメテントウ			0			1	
	テントウムシ科			0			1	
	キシイモドキ科	2	0	4	2	0	0	
	キシイムシ科	0	0	1	0	0	0	
	ケシキシイ科			0			2	
	ツツシンクイ科	0	1	1	0	0	1	
	ノコギリカミキリ類	0	1	0	0	0	0	
	アカハナカミキリ			1			0	
	アカガネサルハムシ	0	0	0	0	1	1	
	マダラアラゲサルハムシ	0	0	0	0	0	1	
	ムナグロサルハムシ	6	8	4	60	58	40	
	カサハラハムシ	3	3	5	7	11	22	
	キクイムシ科	0	2	1	0	4	4	
	ヨシブエナガキクイムシ			0			1	
	キクイゾウムシ類	5	4	0	6	7	7	
	クチブトゾウムシ類	13	26	31	42	67	92	
	マツキボシゾウムシ	1	0	0	0	0	0	
	コナラシギゾウムシ	1	1	1	1	1	2	
	ホオジロアシナガゾウムシ	0	0	0	1	0	0	
	サルゾウムシ類	0	0	0	1	2	0	
	カシルリオトシブミ	1	0	1	0	1	1	
	ノミゾウムシ類	0	0	0	0	0	1	
	ゾウムシ科	0	0	0	1	0	0	
	ヒゲナガゾウムシ科	0	1	1	0	4	3	
	ハチ目	アミメアリ	968	2277	3127	863	3082	2263
		ヤマアリ類	243	246	409	338	262	680
		ムネアカオオアリ	36	25	88	20	78	144
茶色		0	50	0	22	12	0	
ヒメバチ科		14	23	12	5	17	33	
ジガバチ		1	2	2	0	0	0	
ドロバチ類		0	0	0	1	1	0	
アシナガバチ類		1	0	0	0	0	0	
マルハナバチ類		0	0	0	1	0	0	
トビケラ目	トビケラ類	2	1	3	0	1	1	
ハエ目	ハエ類	442	635	469	30	23	235	
	アブ類	0	2	0	0	0	0	
	マガリケムシヒキ	1	1	0	1	2	1	
	ガガンボ科	2	0	0	1	0	0	
チョウ目	小蛾類	4	3	7	2	6	13	
	エダシャク類	1	0	0	0	1	0	
	ツバメエダシャク類	1	0	0	0	0	0	
	ホタルガ	1	0	0	0	0	0	
	チャドクガ	0	0	0	0	0	1	
	ビロウドハマキ	0	0	0	1	0	0	
	マダラマルバヒロズコガ幼虫	0	3	4	0	0	0	

	サトキマダラヒカゲ	1	0	0	0	0	0
	モンシロドクガ幼虫	0	0	0	2	0	0
	コウモリガの幼虫	1	1	0	0	0	0
	ホソバシャチホコの幼虫	0	0	0	0	1	0
	ガ類の幼虫	7	11	2	3	5	7
クモ類	コアシダカゲモ	10	31	10	0	1	0
	徘徊性クモ類	48	34	31	17	23	26
	ユウレイグモ	7	3	1	5	1	1
	ザトウムシ	0	5	6	0	1	8
	ササラダニ類	2	4	6	9	9	26
多足類	ヤスデ類	2	8	10	5	7	11
	ムカデ類	2	0	0	3	2	1
はちゆう類	ヤモリ	0	0	1	0	0	1
	カナヘビ	3	10	5	2	7	9
	トカゲ	0	0	0	0	0	1
	アオダイショウ	0	0	0	0	0	2
軟体類	カタツムリ類	0	0	0	0	0	1

3. ならやま自然の森でのトラップで捕獲された生き物調査結果

- ・ 捕獲総数は、各調査日とも設置位置に関係せずカミキリホイホイの方が多かった。
- ・ ハエ類とクモ類は、カミキリホイホイが各調査日ともかなり多かった。
- ・ アリ類もカミキリホイホイが常に多かった。

トラップ別捕獲数（カミキリホイホイ：下位5樹計、カシナガホイホイ：上位7樹計）

調査日	7月26日		8月9日		8月23日	
	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
アリ類	221	142	1133	797	901	672
ハエ類	22	0	63	2	19	6
その他昆虫	25	23	31	34	32	20
クモ類	24	5	19	4	18	1
その他小動物	1	0	3	1	2	2
捕獲総数	293	170	1249	838	972	701

トラップ別捕獲数（カミキリホイホイ：上位7樹計、カシナガホイホイ：下位5樹計）

調査日	7月26日		8月9日		8月23日	
	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
アリ類	355	151	912	492	1121	599
ハエ類	57	1	106	5	86	7
その他昆虫	31	37	48	53	28	26
クモ類	16	3	18	4	11	2
その他小動物	3	0	4	1	5	0
捕獲総数	462	192	1088	555	1251	634

トラップ別捕獲数（総計）

トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月26日	8月9日	8月23日	7月26日	8月9日	8月23日
アリ類	576	2045	2022	293	1289	1271
ハエ類	79	169	105	1	7	13
その他昆虫	56	79	60	60	87	46
クモ類	40	37	29	8	8	3
その他小動物	4	7	7	0	2	2
捕獲総数	755	2337	2223	362	1393	1335

トラップによって捕獲数が異なった生き物

トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月26日	8月9日	8月23日	7月26日	8月9日	8月23日
クロゴキブリ	2	11	8	1	2	1
コガシラアワフキ	1	1	0	12	11	7
ヒグラシ	2	6	5	0	2	2
キマワリ	7	16	16	0	1	1
クチブトゾウムシ類	0	1	0	4	6	5
ハエ類	79	169	105	1	7	13
コアシダカグモ	32	30	26	0	2	2

- ・ カミキリホイホイで顕著に多かったのは、キマワリ、ハエ類、コアシダカグモであった。
- ・ カシナガホイホイで顕著に多かったのはコガシラアワフキ、クチブトゾウムシ類であった。
- ・ クロゴキブリは8月9日、23日の調査では、明らかにカミキリホイホイが明らかに多かった。ヒグラシも同様な傾向が認められた。

トラップで捕獲されたグループ別生き物数

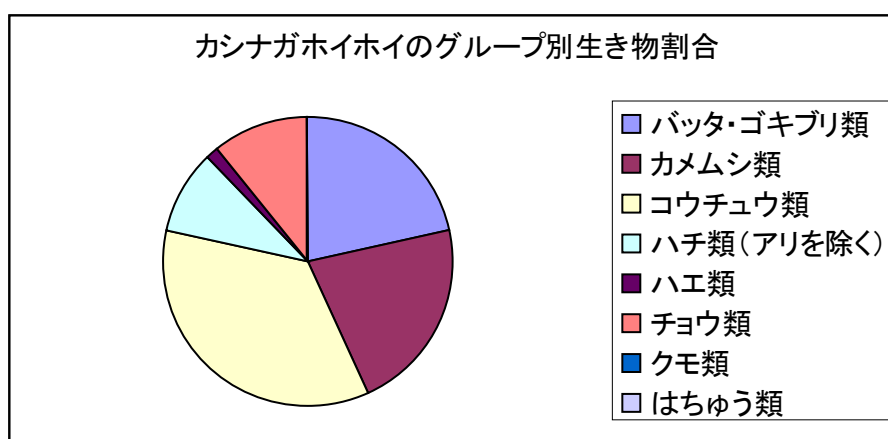
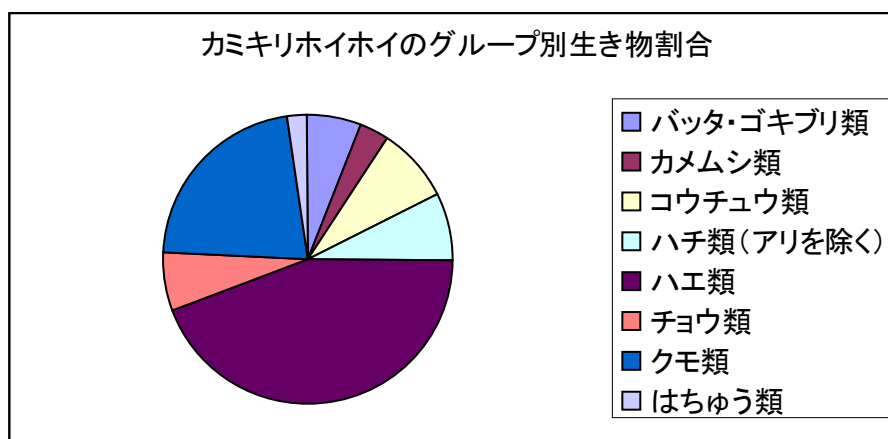
トラップ	カミキリホイホイ			カシナガホイホイ		
	7月5日	7月19日	8月2日	7月5日	7月19日	8月2日
ゴキブリ目	3	11	8	3	5	2
カマキリ目	2	0	0	1	0	0
バッタ目	6	10	5	9	16	3
ナナフシ目	0	2	2	1	1	0
カメムシ目	6	14	7	14	21	16
アミメカゲロウ目	0	0	1	0	0	0
コウチュウ目	15	27	26	23	27	16
ハチ目アリ類	576	2045	2022	293	1289	1271
ハチ目ハチ類	13	13	10	6	12	8
ハエ目	79	169	105	1	7	13
チョウ目成虫	7	1	0	2	0	1
チョウ目幼虫	4	1	1	5	4	0
クモ類	40	37	29	8	8	3
多足類	0	2	1	0	1	0
はちゅう類	4	7	7	0	2	2

- ・ トラップで捕獲された生き物は、昆虫類が10目、クモ類、多足類、はちゅう類で、最も多かったのは両トラップともアリ類で、全体の76～95%を占めていた。
- ・ チョウ類の成虫はすべて小蛾類の成虫で、蝶は捕獲されなかった。

- ・ 地上徘徊性のマイマイカブリが1頭捕獲されたが、前年度と同じ場所のトラップであった。

7月26日のアリ類を除いたトラップ別捕獲生き物の割合 (%)

生き物グループ	カミキリホイホイ		カシナガホイホイ	
	匹数	割合	匹数	割合
バッタ・ゴキブリ類	11	6.1	14	21.5
カメムシ類	6	3.4	14	21.5
コウチュウ類	15	8.4	23	35.4
ハチ類 (アリを除く)	13	7.3	6	9.2
ハエ類	79	44.1	1	1.5
チョウ類	11	6.1	7	10.8
クモ類	40	22.3	0	0
はちゅう類	4	2.3	0	0



- ・ カミキリホイホイでは、ハエ類が44%、ついでクモ類が22%で、他のグループは10%以下であった。カシナガホイホイでは、コウチュウ類が35%、ついでカメムシ類、バッタ・ゴキブリ類が21%で、他のグループは10%以下であった。

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま自然の森)-1
(カミキリホイホイ: 下位配置、カシナガホイホイ: 上位配置)

グループ名	種名	7月26日		8月9日		8月23日	
		カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
ゴキブリ目	クロゴキブリ			1		1	
	モリチャバネゴキブリ		1				
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫	2					
バッタ目	カネタタキ幼虫				2		1
	アオマツムシ幼虫	2	2			1	
	ササキリモドキ	3	1		3	1	
	ウマオイ・ヤブキリ類		2	1	2		
	コロギス			1			
	ハネナシコロギス			1	1		
ナナフシ目	トビナナフシ			2		2	
カメムシ目	コガシラアワフキ		7	1	6		4
	アオバハゴロモ				1		1
	ヨコバイ類	1					
	ヒグラシ	2		4	1	5	2
	ニイニイゼミ				1		
	ホソヘリカメムシ						1
	カメムシ類		1		2		
アミメカゲロウ目	クサカゲロウ類					1	
コウチュウ目	ハネカクシ科	1			1		
	マイマイカブリ	1		1		1	
	コメツキムシ科		2	1	1	3	2
	コメツキモドキ科			1			
	キオビジョウカイモドキ類		2				
	クリイロジョウカイ				1		
	キマワリ	4		11		10	
	オオクチキムシ	1			3	1	1
	ムナグロサルハムシ						1
クチブトゾウム類		1		1		1	
ハチ目	アミメアリ	161	113	560	610	550	395
	ヤマアリ類	60	29	73	87	48	77
	ムネアカオオアリ					3	
	茶色のアリ			500	100	300	200
	ヒメバチ科	3	1	1	4	3	6
	ジガバチ			3		1	
	スズバチ					1	
ハエ目	ハエ類	22		63	2	19	6
チョウ目	小蛾類	1		1			
	マダラマルバヒロズコガ幼虫	1					
	ガ類の幼虫	3	3	1	3	1	
クモ類	コアシダカグモ	22		16	1	18	1
	徘徊性クモ類	2	4	2	1		
	ササラダニ類		1	1	2		
はちゆう類	ヤモリ			1			
	カナヘビ	1		2	1	2	2

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま自然の森)-2
(カミキリホイホイ: 上位配置、カシナガホイホイ: 下位配置)

グループ名	種名	7月26日		8月9日		8月23日	
		カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ	カミキリ	カシナガ
ゴキブリ目	クロゴキブリ	2	1	10	2	7	1
	モリチャバネゴキブリ	1	1		3		1
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫		1				
バッタ目	カネタタキ幼虫			1	4		1
	アオマツムシ幼虫		1				1
	ササキリモドキ	1	1	1	1		
	ウマオイ・ヤブキリ類		1	2	3	1	
	コロギス			3		2	
ナナフシ目	トビナナフシ		1		1		
カメムシ目	コガシラアワフキ	1	5		5		3
	アオバハゴロモ			1			
	ヨコバイ類				1		
	コミミズク	1					
	ヒグラシ			2	1		
	アブラゼミ	1		1		1	
	サシガメ幼虫			5			
	クサギカメムシ				1		1
	カメムシ類		1		2	1	4
	ハネカクシ科	1	1	1			
	ゴミムシ科						1
	コメツキムシ科	1	1	1	2	3	1
	キマワリ	3		5	1	6	1
	オオクチキムシ	2	3	2	4	2	2
コウチュウ目	クチキムシ科				1		
	オオキボシハナノミ			1			
	ハナノミ科				1		
	キスイモドキ科	1					
	ミツモンセマルヒラタムシ		3				
	ムナグロサルハムシ				1		1
	カサハラハムシ		3	1	2		
	キクイムシ科		1		2		
	キクイゾウムシ類				1		1
	クチプトゾウムシ類		3	1	5		4
	コナラシギゾウムシ		1	1			
	サルゾウムシ類		1				
	カシルリオトシブミ		1				
	ハチ目	アミアリ	315	85	810	305	1035
ヤマアリ類		40	65	62	167	36	119
ムネアカオオアリ			1				
茶色のアリ				40	20	50	
ヒメバチ科		6	5	3	7	1	1
ジガバチ		1		1		1	
ベッコウバチ		3		3		1	
アシナガバチ類				1	1	1	1
ハエ目	スズメバチ類			1		1	
	ハエ類	57	1	106	5	86	7
チョウ目	小蛾類	6	2				1
	イラガ幼虫		1				
クモ類	ガ類の幼虫		1		1		
	コアシダカグモ	10		14	1	8	1
	徘徊性クモ類	4	3	4	1	3	1

	ササラダニ類	2			2		
多足類	ムカデ類			2	1	1	
	カナヘビ	3		4	1	4	
	トカゲ					1	

粘着トラップに捕獲された生き物(ならやま自然の森)-3

グループ名	種名	カミキリホイホイ(総計)			カシナガホイホイ(総計)		
		7月26日	8月9日	8月23日	7月26日	8月9日	8月23日
ゴキブリ目	クロゴキブリ	2	11	8	1	2	1
	モリチャバネゴキブリ	1	0	0	2	3	1
カマキリ目	ハラビロカマキリ幼虫	2	0	0	1	0	0
バッタ目	カネタタキ幼虫	0	1	0	0	6	2
	アオマツムシ幼虫	2	0	1	3	0	1
	ササキリモドキ	4	1	1	2	4	0
	ウマオイ・ヤブキリ類	0	3	1	3	5	0
	コロギス	0	4	2	0	0	0
	ハネナシコロギス	0	1	0	0	1	0
	コオロギ類	0	0	0	1	0	0
ナナフシ目	トビナナフシ	0	2	2	1	1	0
カメムシ目	コガシラアワフキ	1	1	0	12	11	7
	アオバハゴロモ	0	1	0	0	1	1
	ヨコバイ類	1	0	0	0	1	0
	コミズク	1	0	0	0	0	0
	ヒグラシ	2	6	5	0	2	2
	アブラゼミ	1	1	1	0	0	0
	ニイニイゼミ	0	0	0	0	1	0
	ホソヘリカメムシ	0	0	0	0	0	1
	サシガメムシ幼虫	0	5	0	0	0	0
	クサギカメムシ	0	0	0	0	1	1
	カメムシ類	0	0	1	2	4	4
	アミメカゲロウ目	クサカゲロウ類	0	0	1	0	0
コウチュウ目	ハネカクシ科	2	1	0	1	1	0
	ゴミムシ科	0	0	0	0	0	1
	マイマイカブリ	1	1	1	0	0	0
	コメツキムシ科	1	2	6	3	3	3
	コメツキモドキ科	0	1	0	0	0	0
	キオビジョウカイモドキ	0	0	0	2	0	0
	クワイロジョウカイ	0	0	0	0	1	0
	キマワリ	7	16	16	0	1	1
	オオクチキムシ	3	2	3	3	7	3
	クチキムシ科	0	0	0	0	1	0
	オオキボシハナノミ	0	1	0	0	0	0
	ハナノミ科	0	0	0	0	1	0
	キスイモドキ科	1	0	0	0	0	0
	ミツモンセマルヒラタム	0	0	0	3	0	0
	ムナグロサルハムシ	0	0	0	0	1	2
	カサハラハムシ	0	1	0	3	2	0
	クイムシ科	0	0	0	1	2	0
	クイゾウムシ類	0	0	0	0	1	1
	クチブトゾウムシ類	0	1	0	4	6	5
	コナラシギゾウムシ	0	1	0	1	0	0
	サルゾウムシ類	0	0	0	1	0	0
	カシルリオトシブミ	0	0	0	1	0	0
	アミアアリ	476	1370	1585	198	915	875

ハチ目	ヤマアリ類	100	135	84	94	254	196
	ムネアカオオアリ	0	0	3	1	0	0
	茶色のアリ	0	540	350	0	120	200
	ヒメバチ科	9	4	4	6	11	7
	ジガバチ	1	4	2	0	0	0
	ベッコウバチ	3	3	1	0	0	0
	アシナガバチ類	0	1	1	0	1	1
	スズメバチ類	0	1	1	0	0	0
	スズバチ	0	0	1	0	0	0
ハエ目	ハエ類	79	169	105	1	7	13
チョウ目	小蛾類	7	1	0	2	0	1
	マダラマルバヒロズコガ幼虫	1	0	0	0	0	0
	イラガ幼虫	0	0	0	1	0	0
	ガ類の幼虫	3	1	1	4	4	0
クモ類	コアシダカグモ	32	30	26	0	2	2
	徘徊性クモ類	6	6	3	7	2	1
	ササラダニ類	2	1	0	1	4	0
多足類	ムカデ類	0	2	1	0	1	0
はちゆう類	ヤモリ	0	1	0	0	0	0
	カナヘビ	4	6	6	0	2	2
	トカゲ	0	0	1	0	0	0

3. 第5地区でのトラップで捕獲された生き物調査結果

杉林内のトラップで捕獲された生き物

グループ名	種名	カミキリホイホイ（下位）			カシナガホイホイ（上位）		
		7/26	8/9	8/23	7/26	8/9	8/23
カメムシ目	ゲンバイムシ科					1	
コウチュウ目	オオクチキムシ	1	7	1			
	ムナグロサルハムシ					1	
	ノミハムシ類				1		
ハチ目	アミメアリ	1	200	100		2	2
	ヤマアリ類	9	14		1		
ハエ目	ハエ類		42	31			
クモ類	徘徊性クモ類	1					
	コアシダカグモ	5	7	4			
多足類	ムカデ	1	1				
	ヤスデ						1

- ・ 1箇所のみでのトラップではあったが、捕獲された生き物はコナラ林に比べ種類数、個体数とも非常に貧弱であった。
- ・ コナラ林で多数捕獲された朽木依存のキマワリも見られなかった。
- ・ コアシダカグモは、コナラ林のトラップと同じようにカミキリホイホイで捕獲されたが、カシナガホイホイでは捕獲されなかった。
- ・ アミメアリ、ハエ類がカミキリホイホイではかなり捕獲されたが、カシナガホイホイではほとんど捕獲されなかった。この両種は捕獲されたコアシダカグモを狙ってやって来て、トラップにひっついたものと思われる。

松林内のトラップで捕獲された生き物

グループ名	種名	カミキリホイホイ（上位）			カシナガホイホイ（下位）		
		7/26	8/9	8/23	7/26	8/9	8/23
ゴキブリ目	モリチャバネゴキブリ	1	1		1		
バッタ目	ツチイナゴ						1
カメムシ目	ヨコバイ類					1	1
コウチュウ目	ウバタマムシ				1		
チョウ目	小蛾類					1	
	蛾の幼虫	1					
ハチ目	アミメアリ		30	10	30	30	
	ヤマアリ類		3	3	2		7
	ムネアカヤマアリ	5	6	2		1	
ハエ目	ハエ類	4	1	2			
クモ類	徘徊性クモ類						1
はちゅう類	カナヘビ		1				

- ・ 1箇所のみでのトラップではあったが、捕獲された生き物はコナラ林に比べ種類数、個体数とも非常に貧弱であった。
- ・ コナラ林で多数捕獲された朽木依存のキマワリも見られなかった。
- ・ コナラ林、スギ林で捕獲されたコアシダカグモもまったく見つからなかった。
- ・ 幼虫がマツ材に食入するウバタマムシが1頭捕獲されたのが特徴である。